

小林淳一君（11組）が長野大学学長に

来年の4月1日付で、長野大学の学長に同期の小林淳一君（11組、上田市前山出身）が就任することになりました。

小林君は現在、秋田県立大学の理事長兼学長を務めていますが、引き続き公立大学のリーダーとして、任期の4年間をつとめることとなります。

11月30日付の長野大学発プレスリリースによると、小林君の選考理由として「秋田県立大学での大学運営の中心的役割を担った経験と実績、民間企業での勤務経験も豊富で、幅広い経験と国際感覚を備えている」とあります。

長野大学（上田市下之郷）は、1966年本州大学として設立、1974年長野大学に改称、2017年公立大学化しました。（2022.12.2 上原記）



同期会での小林淳一君

小林君からのメッセージ 『久しぶりに上田に戻ります』

このたび、公立大学法人長野大学の学長に就任することになりました。秋田県立大学の任期が今年度一杯でしたので、当然来年3月には仕事を終えるつもりでいました。しかし、突然依頼があり、どうしたものかと悩みました。

ただ、以前からいつか生まれ故郷への貢献をしたいと思っていましたので、今回の結果となりました。

長野大学は私立大学から公立大学に移行し、第1期中期計画（6年）が終了するところです。長野大学は文系の大学です。しかし、公立大学設置者である上田市は、地域産業への貢献を強く望んでいますので、理系の学部を作ることを求めています。従って、私のミッションの一つは、理工系学部を新設するというものです。現在、新学部の構想が検討されていて、ほぼ固まってきたところです。

元気な学生を見ていると、なんとか育てて立派な社会人になって欲しいとの気持ちが湧いてきます。これが私の原動力かも知れません。

私一人ではどうしようもありません。これからは、是非皆さんのお力をお借りして、地域社会に貢献していきたいと思っています、どうぞよろしくお願いします。（2022.12.3 記）

以上